

平成二十七年 度

浜松学院大学

同窓会だより



浜松学院大学校歌

後藤一夫 作詞

奥村唯夫 作曲



と お か い の あ さ あ け も 一 え 一 て あ
ひ お く まし の かい が や き お が 一 け 一 に あ
す の し お の い ま さ き が 一 け 一 て す

お り そ う の か ぜ か お 一 り え い ち の い ず み
い と ま そ う の か は な た 一 ね つ い ち う あ せ の
す む ぶ ん か の の か な て う 一 み の そ か は た か く

ふ き 一 あ げ る わ れ ら の ち か ら
ひ と 一 つ ぶ な る わ れ ら の い の め ち
む ね 一 に な る わ れ ら の し め い

こ こ に た つ じ し の が く え
あ す お い ゆ く こ の ゑ め り た つ ほ こ え の が く え
き す お い ゆ く の ゑ め り た つ ほ こ え の が く え

ん あ 一 あ は ま ま つ が く いん だ い が く
ん あ 一 あ は ま ま つ が く いん だ い が く

校歌

後藤一夫 作詞
奥村唯夫 作曲

一、

東海のあさあけ燃えて
あおぐ理想の風かおり
英知の泉ふきあげる
われらの力

ここに立つ 挙りたつ

自主の学園 ああ
浜松学院大学

二、

曳馬野のかがやく丘に
愛とまことの花のたね
培う汗の一つぶが
われらのいのち

あすを呼ぶ 夢を呼ぶ

誇る学園 ああ
浜松学院大学

三、

世の潮にいまさがけて
すすむ文化の糧をうみ
のぞみは高く胸に鳴る
われらの使命

勢いゆく のびてゆく

栄えの学園 ああ
浜松学院大学

平成二十七年

浜松学院大学同窓会

総会・懇親会次第

- 一、開会の辞
- 二、会長挨拶
- 三、理事長・学長挨拶
- 四、議 事
 - ・平成二十六年度事業報告及び会計報告
 - ・平成二十七年事業計画及び予算
 - ・寄付金贈呈
- 五、閉会の辞
- 六、講演会
- 七、懇親会
 - ・開会の辞
 - ・校歌斉唱
 - ・議員紹介
 - ・アトラクション（腹話術・手品・足芸）
（どじょうすくい）
 - ・抽選会
 - ・閉会の辞

平成27年度 浜松学院大学同窓会講演会

2015年7月19日

講演タイトル：

「伝えよう、日本の伝統・文化」 ～それぞれには意味がある～

講演要旨：

「昨今希薄になりつつある、日本古来の年中行事や人生儀礼。

この美しく清らかな日本人の精神文化は、一つひとつに意味がありその魂を先人達は受け継いで来ました。

我々の世代で、これを風化させてはなりません。このすばらしい我が国の伝統文化、行事、しきたり、風習等を例を挙げてご紹介しつつ、その意味を探究して、共に次世代に伝えるべく努力していきたいと考えます。」

講師：戸 塚 昌 宏 静岡県神社庁浜松支部長・高塚熊野神社 宮司

略歴：昭和39年 静岡県浜松市生まれ

昭和61年 皇學館大学文学部神道学科

平成14年 高塚町熊野神社 他七社 宮司

平成21年 静岡県神社庁浜松支部長 就任

現在 神社本庁参与、静岡県神社庁理事、神宮評議員、静岡県神社庁教誨師

また、小、中、高校のPTA役員、警察協助力も努めた。



同窓会会長

伊藤 安男

日頃、同窓会会員の皆様には深いご理解とご協力、ご支援を賜り誠に有難うございます。本学の卒業生も今年の3月で、延べ20094名を数え、地元浜松をはじめとして県内外に、短期大学の卒業生は、幼稚園、保育所はもとより社会福祉施設でも活躍し、四大の子どもコミュニケーション学科と地域共創学科も地元地域で多くの卒業生が活躍しているのが現状であります。

同窓会としても、大村前会長の提案した三部会（企画）（会員組織）（広報）の各委員会のさらなる充実した活動が、今後のよりいっそうの会員との親睦や連携を保ち、同窓会発展に大きく寄与できることを1つの目的として活動しております。

さて、今学園では地域で信頼され、期待される学園となり、多くの将来有望な学生を確保できるように、「興誠未来創造計画」の策定が進められております。大学と短大のキャンパス統合に向かっての整備計画もその一環であり、布橋（四大）キャンパスの体育館の新築、及び住吉（短大）キャンパスの体育館、大学会館の改修工事

が進められています。

そして、平成28年度から地域共創学科のカリキュラムを再編成し、新専攻として「地域政策専攻」、「観光ツーリズム専攻」、「グローバルコミュニケーション専攻」がスタートします。子どもコミュニケーション学科の「幼児教育・保育専攻」、「初等教育専攻」と共に高い専門性と実践力を身につける「D i C O R E s プログラム」による対話・共同・責任を推奨した指導を行っております。浜松市との相互協力及び連携のもと、双方が発展するように連携協定を結ぶなど、地域貢献にも力を入れております。

近年の子どもの減少が心配されている中、卒業生の皆様方には身内の方はもとより、友人、知人などに広く我が母校を誇れる学校として、ぜひ学院大学にと声をかけていただきたいと思います。

最後に、多くの企業の方々と同窓会だよりに広告の掲載協力をいただき厚く御礼申しあげると共に、同窓生の皆様方には、母校に対してご支援 ご協力をお願い致します。



学校法人興誠学園理事長
浜松学院大学
浜松学院大学短期大学部
学長

雨宮 正一

ごあいさつ

浜松学院大学同窓会々員の皆さま、いつも母校に対してお心遣いをいただき、有難うございます。

今年も暑い日が続きますがご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。現役世代の若い同窓生の皆さまは日々ご多忙のことと思いますが、折に触れ、学生時代を思い起こしてください。もし仕事や人間関係などで行詰ったり悩んだりしたときには、夢を描き希望を抱いていた青春時代を振り返って見ることをお勧めします。そうすれば、ヤル気や希望がよみがえってくると思います。

私ごとで恐縮ですが、私の母校では卒業して五十年目のOBを卒業式に招待するという慣例があります。私もこの三月に招待される栄誉に浴しました。半世紀の歳月を経て再会した先生や友、お互い面影はすっかり変わりましたが、

ただただ懐かしく、時の経つのを忘れて思い出話にふけりました。キャンパスには伝統の重みが更に加わっているのが感じられ、とても誇らしく思いました。

これまで日常生活の中ではあまり思い起こすこともなかった母校への感謝が同窓生の間に広がり、会場は感動の波に包まれていきました。

今大学は少子化社会によって厳しい環境にさらされておりますが、浜松学院大学は『誠の精神』のもと、地域と共にある知の拠点として存在が期待され続けなくてはなりません。そのために私たちは不断的努力を惜しみません。しかしそれに加え大切なのは同窓生の皆様のご理解とご支援です。どうぞこれからも母校を見守り、支える力となってください。

末筆ながら皆様にご健勝で平安な日々を過されますことを心よりお祈り申し上げます。

浜松学院大学同窓会 平成26年度事業報告

本同窓会は、会員相互の親睦を図り、大学の発展に寄与することを目的として、次の事業を行った。

1. 会長および役員の変更

次期会長候補者の選考方法について、会員組織委員会で検討し、常任理事が選考委員となり候補者選考を行うことで、平成26年2月20日理事会で承認される。3月20日常任理事会において伊藤副会長を会長候補者として理事会に推薦することが決定される。4月24日理事会において承認され、副会長ほか役員人事は新会長に一任される。7月17日理事会において副会長、監事、顧問、掛川支部長、理事が発表される。

2. 同窓会総会・懇親会の開催

平成26年7月27日(日)、同窓会総会を開催した。平成25年度の事業報告、会計報告、新役員紹介、平成26年度事業計画および収支予算を提示した。講演会ならびに懇親会は企画委員会により企画され、来賓を含め130余名の参加者であった。

3. 同窓会報の発行

同窓会活動や収支決算報告、大学・短大の近況報告などの広報を目的とし、広報委員会において企画・編集作業を行った。平成26年度総会開催に合わせて発行し、出席者および協力企業等への配布を行った。

4. ホームページの更新

広報委員会において、同窓会Webサイトの更新を行った。

5. 理事の補充

会員組織委員会から理事増員の推薦をお願いし、新たに1名の常任理事、3名の理事就任について12月18日の理事会で承認される。併せて各委員会の委員について会長より発表があり承認される。

6. 寄付・寄贈

付属幼稚園に食器棚を寄贈。大学の地共学科学生の多文化芸術祭参加に寄付。学園祭実行委員会に抽選会景品を寄贈。学園祭模擬店出店売上金を学友会に寄付。卒業生に卒業証書ファイルを寄贈。卒業パーティー実行委員会に資金援助。

7. 諸会議および行事参加・列席

正副会長会、常任理事会、理事会の開催および必要に応じて各委員会を開催し、議題および事業遂行について協議した。また、大学学園祭への模擬店出店のほか、式典等への招待に対し正副会長が列席した。

日時	会議・行事
平成26年 4月3日	大学・短大 入学式
17日	会計監査
24日	理事会
5月15日	平成25年度収支決算・事業報告 平成26年度収支予算案 次期会長候補者について 平成26年度総会について 常任理事会
6月19日	平成26年度総会について 理事会
7月17日	平成26年度総会について 理事会 新役員の選任について 平成26年度総会について 平成26年度 総会・懇親会 理事会
10月16日	平成26年度総会決算報告 常任理事の選出について 委員会メンバーの選出について 年間スケジュールについて 学園祭 模擬店出店 常任理事会
11月15日 20日	新役員について 平成27年度総会について 理事会・忘年会 新役員について 平成27年度総会について 大学管理職を招待
平成27年 1月15日	常任理事会 平成27年度総会について 短大 表現活動研究発表会 理事会 平成27年度総会について 大学・短大 卒業式 同窓会人会式 新理事紹介 常任理事会 平成27年度総会について
2月19日	平成27年度総会について
3月17日	大学・短大 卒業式 同窓会人会式 新理事紹介 常任理事会 平成27年度総会について
19日	平成27年度総会について

共創祭に模擬店参加

同窓会では、11月15日の共創祭に模擬店「同窓会のドーナツ屋」を出店し、イベントを盛り上げる手伝いをしました。今年も準備したドーナツやお菓子は完売しました。



2014年の共創祭の様子

平成26年の総会・懇親会の様子



浜松学院大学

浜松市中区布橋3丁目2番3号 TEL 053-450-7000 FAX 053-450-7110

「人・組織・地域
それぞれをつなぐ総合的な人間力」
現代コミュニケーション学部は、子どもコミュニケーション学科と地域共創学科の2学科によって構成されています。
子どもコミュニケーション学科は、幼児教育、保育、初等教育、特別支援教育などの専門職の資格取得を通して、時代や地域のニーズに応えられる教育者や保育者、リーダーシップを発揮できる人材を養成する学科です。
一方、地域共創学科は、「地域を知る」「地域から学ぶ」「地域の課題解決に貢献する」をコンセプトに、学修課程において、現場に立脚した能動的な学び（アクティブ・ラーニング）やD・i・C・R・e・s・プログラムにおいて、具体的に実践的な取り組みを図りながら、自己の将来像を展望しつつ、企画能力、現場即応能力、課題解決能力、危機管理能力、コミュニケーション能力等を身につけ、現代及び将来に向け社会が求める人材を育成することを目標とした学科です。



力、現場即応能力、課題解決能力、危機管理能力、コミュニケーション能力等を身につけ、現代及び将来に向け社会が求める人材を育成することを目標とした学科です。

●子どもコミュニケーション学科 「保育と教育を学ぶ」

幼稚園教諭・保育士を目指す「幼児教育・保育専攻」と、小学校教諭・特別支援学校教諭を目指す「初等教育専攻」があります。

時代や地域のニーズに的確に対応し、リーダーシップに優れた教育者・保育者となることができます。4年間の学びには、充実した専門性の高い講義に加え、直接子どもと関わる体験的なプログラムが豊富に用意されており、教育者・保育者に必要な実践力を確実に身につけることができます。

【取得可能な資格】
保育士資格、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状（英語）、特別支援学校教諭一種免許状、小学校英語指導者資格、レクリエーションインストラクター

●地域共創学科

「地域について多角的に学ぶ」
地域共創学科には、「地域政策専攻」「観光ツーリズム専攻」「グローバルコミュニケーション専攻」があります。

浜松市の地域課題を学び、地域課題に取り組むための学術的及び実践的知識と技術を身につけ、社会の幅広い領域で活躍できる人材となるために学びます。学科カリキュラムは現代の社会状況を踏まえ、学生自らの興味と関心に応じて科目を選択し、将来のキャリアと自分の生き方を関連付けて学ぶことが出来るようになっています。

【取得可能な資格】

中学校教諭一種免許状（英語）、高等学校教諭一種免許状（英語）、特別支援学校教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状

【教育課程内で取得支援する資格・検定】

公務員試験、国内旅行業務取扱管理者、総合旅行業務取扱管理者、観光コーディネーター、社会保険労務士行政書士、通関士、TOEIC、IELTS、マイクロスフトウェアスペシャリスト（MOS）、ITパスポート、地域マイスター※指定された地域課題科目を履修すると、浜松学院大学と浜松商工会議所等により認定

就職先一覧

子どもコミュニケーション学科

浜松市立小学校、東京都立小学校、静岡県立特別支援学校、浜松市立幼稚園、湖西市立幼稚園、昭和幼稚園、佐鳴台幼稚園、大清水幼稚園、たんぼぼ保育園、瞳ヶ丘保育園、たかつか光保育園、みなみ保育園、葵ヶ丘保育園、聖隷福祉事業団、曳馬保育園、和光保育園、浜松学院大学付属愛野こども園、ほか

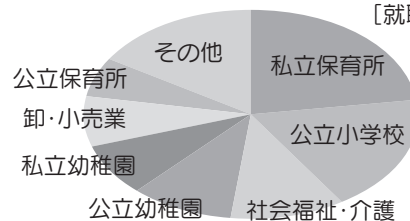
地域共創学科

磐田信用金庫、みずほフィナンシャルグループ、小澤土木、浜松市立中学校、浜松市立小学校、子育て安心住宅、丸茂木工、ソフトブレン工業、一色機材、スズキ自販浜松、遠鉄ストア、ネットトヨタ静浜、浜松日産自動車、パロー、レナウン、坂井モーター、佐野、丸尾興商、大井川農業協同組合、浜松葬儀、ほか

就職データ

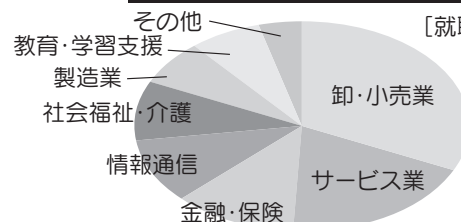
子どもコミュニケーション学科

[就職率100%]



地域共創学科

[就職率98%]



浜松学院大学短期大学部

浜松市中区住吉2丁目3番1号 TEL 053-473-6100 FAX 053-473-6196

● 幼児教育科

『子どもたちのために』

子どもとともに歩む

保育者を目指します』

1965年に幼稚園教員養成所を開設して以来、約50年にわたって、優秀な幼児教育・保育の専門家を送り出してきました。長年にわたって培ってきた教育プログラムと、地域の保育活動に貢献する数多くの卒業生の存在など、確かな礎の上に立つ保育者養成校としての高い評価をいただいています。



また、キャンパスの近くには付属幼稚園、袋井市愛野には付属愛野こども園があります。実習はもとより日常的に子どもや保護者の方々と接することで、学生のうちから生きたコミュニケーションを学び、幅広い体験を積むことができます。

就職支援では、学生の希望と適性を見極めた支援を行い、成功をサポートしています。1年生4月の就職ガイダンスから始まり、作文やピアノ対策など、就職試験に直結する実践的な指導を行う「就職講座」を定期的に開催しています。その結果、高い就職率を実現しています。

短期大学部では、2年間で幼稚園教諭二種免許状、保育士資格を取得することができるので、早く社会に出て活躍したい人には最適です。

【取得可能な資格】

幼稚園教諭二種免許状、保育士、ピアヘルパー、ネイチャーゲーム・リーダー

スカラシップ給付制度

入試結果および在学中の学業成績による給付制度があります。

スカラシップⅠ類…授業料半期分給付(2年間)、スカラシップⅡ類…入学後に入学金相当額を給付、特別給費生制度…2年進級時、成績優秀者に10万円給付

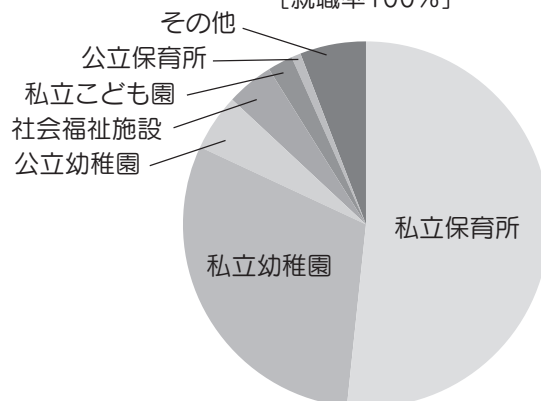
就職先一覧

幼児教育科

浜松市立幼稚園、磐田市立幼稚園、湖西市立幼稚園、相生学園(相生幼・天王幼)、青葉幼稚園、あすなろ幼稚園、アソカ学園、春日幼稚園、蒲幼稚園、北浜幼稚園、佐藤幼稚園、三松幼稚園、宝学園(入野幼・佐鳴台幼)、富塚学園(富塚幼・湖東幼)、萩丘幼稚園、浜松平和学園(旭ヶ丘幼・平和幼)、龍の子幼稚園、入野保育園、大平台わかさ保育園、舘山寺保育園、曳馬保育園、天竜厚生会、中央ながみ保育園、はぁもに保育園、初生保育園、浜松児童福祉園、たんぼぼ保育園、和光保育園、はなのこ保育園、天使園こどもの家、若宮保育園、西貝保育園、広瀬保育園、ほか

就職データ

[就職率100%]



母校の近況

浜松学院大学

平成27年度

「浜松市と大学との連携事業」調整会議実施

6月23日、「浜松市と大学との連携事業～大学生による講座」に関する調整会議を、市の職員の方々と本学教職員出席のもと実施いたしました。

「浜松市と大学との連携事業」とは市内の協働センター等生涯学習施設で行われている講座開催の機会を大学生に提供することにより、市民と大学生が互いに自己の学びを深めるとともに、浜松市と大学が連携・協力して生涯学習の取組を一層推進することを目指す事業です。今年度で5年目を迎えます。

今年度は東部協働センター・庄内協働センター・佐鳴台協働センター・白脇協働センター・高台協働センター・蒲協働センターで実施いたします。

ネパール大地震募金活動を実施

浜松学院大学『地域防災サークル』は、4月29日にネパール大地震の被災者支援のためJR浜松駅前にて募金活動を行いました。

本学にはネパール人の学生も在籍している

ことから、4月25日の地震発生ニュースが飛び込んで来たときには、サークルメンバーはいてもたってもいられなくなり、サークル内でLINEを利用して急遽募金活動を行うことを決めました。

今後も募金活動を続けていきますので、ご協力をお願い致します。



「静岡県少子化対策コースプロジェクト推進事業」の事業報告を行いました。

地域共創学科鈴木仁海（すずき ひとみ）さんが、平成27年3月10日に静岡県教育会館において「少子化対策コースプロジェクト推進事業」の成果発表を行いました。この事業は、静岡県からの委託事業として実施したものです。本学は「結婚へのポジティブイメージ形成～結婚・家族のいろいろなカタチ～」

というテーマで、学生が既婚者の方々へのインタビューや、大学生への調査などを行いました。

この事業を通して、学生たちは、少



子化という地域の課題への理解を深め、問題解決への取り組みができたようです。

浜松市が推進する

学生ボランティアネットワークに参加

学生ボランティアネットワーク通称「学ボラネット」は、浜松市内の大学生ボランティア団体のメンバー同士が、お互いの活動情報や課題等を共有し、連携できる機会を設けることで、団体間や大学間のネットワーク化を図り、学生主体のボランティア活動を活発にする目的で作られた組織です。

本学からも、地域防災サークルのメンバーなど5人が参加することになりました。本学では、過去5回の被災地訪問など東北の震災復興支援を継続的に行ってきました。

また、伊豆大島や広島などの自然災害に関する緊急募金活動の経験もあり、それらを今後の活動に活かしていきたいと考えています。

付属愛野こども園での観察体験

子どもコミュニケーション学科1年生が、6月に付属愛野こども園で観察体験を行いました。

たくさんの大学生との出会いにびっくりした様子の1,2歳児クラスの子ども達。学生達も初めは緊張していたようですが、子ども達が興味を持っていることを一緒に楽しむ中で、笑顔があ



ふれていきました。そんな学生達に、子ども達も親しみを持ってくれたようです。幼児クラスの子ども達とは、学生達も一緒に泥んこになって遊びました。子ども達が遊びを通して何を学んでいるのか実際に体験することで、学びを深めてくれたようです。そして、複数のクラスで体験をさせていただくことで、子ども達の発達によって遊び方が違うことや、人とのコミュニケーションのとり方も変わってくることを実感しました。また、保育室や園庭、廊下など保育環境を観察することで、安全面への配慮や年齢に応じて環境が工夫されていることを学びました。何より、子ども達が主体的に活動できる環境を保育者が意図的に用意していることに気づくことができたようです。

観察体験で学んだことはレポートにまとめ、授業内でもしっかり振り返りをします。体験してきたことをもとに、「あの時どう関わればよかったのか?」「あの行動はどういう意味があったのか?」など振り返ることで新たな課題を見つけています。こういった学びの蓄積の中で、保育者・教育者として子どもや保育・教育を見る視点をどんどん広げていくことでしょう。

近況は、HPのキャンパスニュースや広報誌（バックナンバー）で見ることができます。

母校の近況

浜松学院大学短期大学部

子どもたちの笑顔のために ～子どもフェスティバル実行委員会～

11月1日に、ハマタン最大の行事の一つ、「子どもフェスティバル」が開催されます。夏に教育実習、保育実習を控えている2年生の実行委員たちは、4月から毎週集まって綿密に計画を立てています。役割分担をしたり、先のことを見通した対応



を考えたり、各ゼミナールの意見をまとめたり、課題は盛りだくさん。大変なこともありますが、子どもたちがキャンパス内で楽しむ姿を思い浮かべながら、いきいきと準備を進めています。

新しい仲間を迎えて ～新入生歓迎会～

入学後から1ヶ月が過ぎた5月中旬。短大生活に少しずつ慣れ始めたとはいえ、まだ分からないこと、知らない人も多い時期です。

そんな新入生がよりハマタンを好きになるために、「学友会」の先輩たちが新入生歓迎会を企画しました。サークル紹介、新入生が参加するゲーム、参加者全員に賞品が当たるビンゴなどが行われ、1時間半が楽しく過ぎて行きました。歓迎会ではお菓子和飲み物がふるまわれ、おしゃべりにも花も咲きました。



オープンキャンパススタッフ任命式



2015年夏のオープンキャンパスは、6月27日(土)、7月18日(土)、7月31日(金)、8月23日(日)の4日間に渡って行われます。「浜短の顔」としてオープンキャンパスを支えるのは、来場する高校生の皆さんにとって「数年後の私」となる先輩たちです。3月31日(火)、オープンキャンパススタッフに選抜された49名の2年生が任命式に臨み、委嘱状の授与を受けました。担当の先生たちから「後輩たちが居心地良く、話しかけやすいと感じる雰囲気を作ってください」との激励もあり、スタッフ一同、「浜短の顔」としての自覚を高めたようでした。

入学前ピアノレッスン

ピアノは幼児教育で必要とされ、ハマタンでも重視しています。2月21日(土)、この春に入学を控えた高校生たちがキャンパスを訪れ、ピアノのレッスンを受けました。個別レッスンとグループレッスンを通じて、ピアノの楽しさの一端に触れる良い機会となり、受付の時は緊張していた人も、帰りには笑顔になっていました。



ライブラリーメイトのクリスマス会



ライブラリーメイト主催のクリスマス会が、短大図書館で開催されました。お客様は、付属幼稚園の園児のみなさんです。6名のライブラリーメイトは授業の合間を縫って、自分たちで企画を練り、練習を重ね、準備を進めてきました。本番を迎え、ドキドキ・・・!でも、さすがは幼児教育科の学生です。子どもたちを前にすると自然に笑顔が出て、園児のみなさんとすてきな時間を過ごしました。

シンボルタワーの新しい時計



11月末、大学会館の時計塔が新しくなりました。

広場を挟んで1号館の教室で勉強している学生に、窓からいつも時を知らせてくれる時計です。新しい



時計の文字盤には、かわいい動物たちが描かれています。

これまでのものが、20年以上学生を見守ってきたように、新しい時計もずっと学生を見守り励ましてくれることでしょう。

女子フットサルが大会2連覇!

静岡県私立短期大学体育大会が、11月30日に静岡市内の常葉大学短期大学部で行われ、本学からはフットサル男子、女子、バレーボール女子の3チームが出場しました。フットサル女子は昨年に続いて優勝、バレーボール女子が準優勝、フットサル男子は3位の成績でした。女子フットサル部の部員は15



名です。主力が2年生のため、9月までは実習があり、10月も子どもフェスティバル等で練習時間は少なかったのですが、試合では、見事なパスワークと決定力を見せてくれました。

福永博文先生名誉教授に

2014年3月で本学を退任され、現在も非常勤講師として福祉系の授業を担当される福永博文先生に名誉教授の称号が授与され、11月の「文化の日」週間に合わせて授与式が行われました。先生は、平成2年の保育課程(現在の保育士課程)開設以来、20年以上に渡って本学の発展に貢献されました。社会的にも福祉心理関係の行政に多大な貢献をされ、浜松社会福祉協議会からの表彰をはじめ、浜松市市勢功労者表彰なども受賞されています。



近況は、HPのキャンパスニュースや広報誌(バックナンバー)で見ることができます。

大学・短期大学部のイベント案内

浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部 大学祭

共創祭

平成27年11月21日(土)・22日(日) 於：ザザシティ浜松

浜松学院大学の大学祭は「共創祭」といいます。今年度はキャンパスを飛び出し、会場はザザシティ浜松です。

「共創」とは人と人とのつながりや出会いから生まれる新しい創造力。共創祭は本学の学生だけのイベントではなく、他大学、高校、地域の方と共に創り、参加し、楽しむ大学祭なのです。同窓会も毎年模擬店を出店し、共創祭を盛り上げています。

主な催し物

- ・展示 DiCoRes ミュージアム
(子どもコミュニケーション学科企画・子ども向イベント)
地域交通サークル(鉄道研究)、創造サークル
陶芸作品展示・即売
- ・演舞 よさこいサークル遠州舞遊連、演劇サークル、エイサー 等
- ・模擬店 同窓会も出店予定
- ・受験希望者を対象とした「入試個別相談会」(共創祭開催時間中、随時応じます)
同窓生の方のご来場をお待ちしております。

※詳細は追ってHPにて紹介されます。



浜松学院大学短期大学部

子どもフェスティバル

平成27年11月1日(日) 10:00～

於：浜松学院大学短期大学部

学んだ成果を地域の子どもたちに発信する学生主体の交流イベントです。毎年秋、地域の子どもたちをキャンパスに招待して開催します。

企画から準備、運営まで学生が主体となって取り組みます。手作り感あふれるハートフルな演出はみなさまに大好評です！



表現活動研究発表会

平成28年1月16日(土) 13:00～(開場) 13:30～(開演)
於：Uホール(浜松市勤労会館)

本年度、「表現活動研究発表会」は29回目を迎えます。

これは、幼児教育科の表現系ゼミナールが卒業研究の一端を発表するものとして、毎年開催されているものです。



地域政策・観光ツーリズム・グローバルコミュニケーションの 新3専攻を平成28年4月地域共創学科到新設

- 大学と自治体・経済界による産学官連携型アクティブラーニングを数多く実施
- 行政系・観光系・語学系・PC系の資格取得をサポートするカリキュラムを構成

新設する背景

本学は、地域に拠点を置く高等教育機関として社会の現場を担う人材を育成し、地域に提供する重要な役割を担っています。市民や自治体・経済界などの関係者と協働して「浜松地域中心市街地の活性化・中山間地域の活性化・外国人市民との多文化共生」などの地域課題解決に貢献する使命があり、学科名である地域を共に創るという意味の「地域共創」という言葉は、この役割や使命を端的に示しています。

そこで「地域共創」にふさわしく、地域と連携して地域の課題解決に貢献できる人材を育成する教育内容に一新し、「地域政策」・「観光ツーリズム」・「グローバルコミュニケーション」の3専攻を新設します。

2015年 新プロジェクト!

静岡県初、産学官連携型人材教育プログラムである 「長期企業内留学」を国内外で実施 従来のインターンシップを質的・量的に変換

1. 産学連携の教育プログラム

これまでのインターンシップは、大学の要請を受けて大学生に対して職場体験の機会や場を提供し、大学が企業側にプログラム全てを任せてしまうことが多いのが現状です。しかし、本学の長期企業内留学では、**1週間に1度、受講生全員が大学に登校して、企業内留学の状況を報告**します。受講者同士で励まし合い、大学教職員からは受講者に助言するなど大学全体で全面的なサポートをおこないます。

2. 学事歴の弾力化と12単位の授与

大学の講義は、通常週に1回の授業を15週連続で実施され、2単位授与が基本とされます。しかし、本学の企業内留学は、そのような画一的な学事歴を取扱い、3年次の前期の3ヶ月に渡り一括して実施し、**修了者には、12単位を授与**します。

3. 企業の海外事業所においても留学を実施

長期企業内留学は、国内だけではなくありません。浜松市内には、海外に事業所を置く国際的な企業が多く、海外での長期企業内留学を**希望する受講者は、海外の事業所で企業内留学をおこなう**ことができます。

布橋キャンパス体育館の新築

布橋キャンパス整備の将来計画に基づいて、体育館の新築工事を行っています。

2016年3月に完成予定の体育館は、授業やクラブの活動の拠点として、またその他学校行事の開催を考慮した多目的な施設として、シンプルな中にも使いやすさを追求したデザインとなっています。

完成後最初の行事となる大学及び短期大学の卒業式の開催を目指して、現在、順調に建設工事が進められています。



〔同窓会役員名簿〕

〔会 長〕

伊 藤 安 男 (商Ⅰ 21回)

〔副会長〕

島 田 隆 (商Ⅰ 22回)

川 島 多 賀 子 (幼Ⅰ 3回)

山 本 陽 子 (幼Ⅰ 8回)

〔常任理事〕

曾 布 川 初 市 (商Ⅰ 1回)

鈴 木 僕 稔 (商Ⅰ 3回)

坂 田 繁 (商Ⅰ 17回)

堀 内 陽 吉 (商Ⅰ 26回)

三 沢 芳 弘 (商Ⅰ 27回)

野 澤 貴 士 (商Ⅰ 28回)

天 野 弘 美 (商Ⅰ 34回)

宮 地 暘 (商Ⅱ 1回)

永 田 敏 夫 (商Ⅱ 10回)

加 茂 さ よ 子 (商Ⅱ 28回)

中 村 さ ち 子 (幼Ⅰ 2回)

伊 藤 道 子 (幼Ⅰ 5回)

富 永 正 子 (幼Ⅰ 17回)

菊 地 美 香 (幼Ⅰ 25回)

渡 辺 亜 希 (幼Ⅰ 26回)

青 山 ひ ろ 子 (幼Ⅱ 5回)
大 高 恵 美 子 (幼Ⅱ 26回)

〔理 事〕

加 藤 正 夫 (商Ⅰ 4回)

日 山 泰 秀 (商Ⅰ 5回)

大 石 睦 子 (商Ⅰ 6回)

氏 原 道 雄 (商Ⅰ 13回)

石 津 佐 一 郎 (商Ⅰ 14回)

藤 田 成 孝 (商Ⅰ 16回)

横 井 茂 (商Ⅰ 18回)

水 野 等 (商Ⅰ 20回)

杉 山 道 郎 (商Ⅰ 22回)

山 本 絹 枝 (商Ⅰ 29回)

高 橋 良 正 (商Ⅰ 29回)

和 久 田 政 子 (商Ⅰ 31回)

鈴 木 一 吉 (商Ⅰ 35回)

藤 井 利 和 (商Ⅰ 38回)

小 松 征 夫 (商Ⅱ 2回)

鈴 木 勝 (商Ⅱ 4回)

坪 井 勝 俊 (商Ⅱ 4回)

野 末 和 男 (商Ⅱ 6回)

平 野 由 久 (商Ⅱ 6回)

加 藤 憲 於 (商Ⅱ 13回)

永 田 雅 大 (商Ⅱ 30回)

渡 辺 修 (商Ⅱ 31回)

川 嶋 幸 子 (幼Ⅰ 6回)

宮 下 明 菜 (幼Ⅰ 40回)

河 野 愛 (幼Ⅰ 41回)

平 野 千 晶 (幼Ⅰ 43回)

中 島 穂 奈 美 (幼Ⅰ 44回)

谷 元 美 和 子 (幼Ⅰ 45回)

酒 井 侑 季 奈 (幼Ⅰ 46回)

中 野 雅 章 (幼Ⅰ 47回)

太 田 佐 登 子 (幼Ⅱ 15回)

小 澤 仁 (現Ⅱ 1回)

元 井 和 久 (現Ⅱ 2回)

近 藤 伊 代 (現Ⅱ 3回)

森 山 千 裕 (現Ⅱ 4回)

森 山 達 也 (現Ⅱ 4回)

杉 浦 未 来 (現Ⅱ 5回)

宮 本 薫 (現Ⅱ 5回)

和 久 田 友 之 (地共Ⅰ回)

森 龍 馬 (地共Ⅱ回)

建 部 光 由 (子Ⅱ 1回)

馬 渕 文 香 (子Ⅱ 1回)

押 木 留 奈 (子Ⅱ 2回)

熊 切 祐 子 (子Ⅱ 2回)

千 葉 亜 久 理 (子Ⅱ 3回)

横 原 佑 太 (子Ⅱ 3回)

佐 山 竜 一 (子Ⅱ 4回)

新 村 彩 華 (子Ⅱ 5回)

〔監 事〕

神 谷 寿 俊 (商Ⅰ 1回)

早 田 利 之 (商Ⅰ 12回)

〔顧 問〕

大 村 弘 司 (商Ⅱ 1回)

高 林 勇 式 (商Ⅱ 1回)

吉 川 彰 (商Ⅱ 4回)

花 井 達 藏 (商Ⅰ 7回)

〔特別顧問〕

岡 本 護 (商Ⅱ 4回)

氏 原 章 博 (商Ⅰ 13回)

〔理事・掛川支部長〕

鈴 木 洋 司 (商Ⅰ 18回)

〔掛川支部会計〕

増 田 芳 弘 (商Ⅰ 27回)

〔掛川副支部長〕

久 保 田 ま さ え (幼Ⅰ 5回)

萩 田 千 鶴 子 (幼Ⅰ 5回)

同窓会活動の紹介

本同窓会は、会員の親睦や連携を図るとともに、母校の発展に寄与することを目的として活動しております。

年1回の総会・懇親会の開催、会報「同窓会だより」の発行、5年に1度の会員名簿の発行、ホームページの開設などにより、会員相互の親睦を図ることはもとより、奨学金事業をはじめ、学園祭への模擬店参加や寄付、卒業生に対する証書ファイルの寄贈、卒業パーティへの補助、卒業した年に開催する総会・懇親会への無料招待など、在学生に対する支援活動も行っております。

また、入学式や卒業式など、大学の主な行事へは、会長をはじめとする役員が出席し祝詞を述べる機会をいただいておりますが、卒業式の終了後には、同窓会への入会式を行い、会長から卒業生に対して、同窓会への入会を歓迎し、また今後の活動への協力をお願いしております。

このような同窓会の様々な活動が、より充実して進められるよう、次の3つの委員会を設置しています。

企画委員会

企画委員会は、総会・懇親会、その

他の事業の企画、立案や運営を担当する委員会です。

委員長、副委員長、委員で組織され、昨年からの今年の同窓会総会の企画を、検討してきました。懇親会での抽選会（全員に景品が当たるビンゴゲーム）など、会員相互の親睦を図るとともに、総会に来てよかったと思っていただけの内容を企画しております。

今後も、同窓会の活動をより多くの卒業生に理解していただき、同窓会総会に多くの卒業生が出席し、多くの人間が交流を持ち、みんなで母校を盛り上げていく、そんな企画立案をし、大学の発展につながる委員会を目指していきます。

会員組織委員会

会員組織委員会は、同窓会会員に関する問題や、同窓会組織や会則に関する問題について検討し、提案、改善を行うことを目的とした委員会です。

役割としては、組織、会則の見直しや、会員名簿の発行に関するもので、この委員会制度の導入についても提案し、同窓会会則に盛り込みました。また、我が母校の発展に寄与するために、卒業生同士が親睦を深め、卒業生と学生、教職員の交流を図る場である同窓会総会に多数参加していただくよう、理事不在の卒業年から、理事の選出を

お願いしております。そのほか、5年に一度の会員名簿の発行業務を担当しております。

広報委員会

広報委員会は、同窓会の活動を広く会員の皆様にお知らせすることを目的とした委員会です。具体的な役割としては、年一回発行される会報「同窓会だより」の編集とホームページの運営です。「同窓会だより」発行の時期が近づいて来ると広報委員会の委員が集まり、掲載記事の選定や原稿の準備、紙面レイアウトの検討などを行います。原稿の依頼や確認など大変な仕事ですが、卒業生や大学の様々な情報に触れることができ、楽しみでもあります。

皆様の中で、こんな情報が知りたい、またこれを記事にしてほしいという要望等がございましたら、直接事務局へ、またはホームページを通じてお聞かせください。お待ちしております。

同窓会として会員の皆様のために、また母校の発展のために何ができるのか、会員の皆様とともに考え、活動を続けていくためには、多くの卒業生が会の運営に参画することが必要です。皆様の同窓会活動へのご支援を引き続きお願いいたします。

同窓会のホームページ

本同窓会の公式サイトを通じて同窓会の活動や、総会の案内などを積極的にお伝えしていこうと思っています。

浜松学院大学同窓会ホームページ

URL <http://www.hgu.ac.jp/dousoukai/>

奨学事業

浜松学院大学同窓会奨学金

本同窓会奨学金は、学業に対する取組みが積極的であり、かつ、経済的な理由により修学困難と認められる学生（入学予定者）に対し奨学金を貸与します。

1. 入学前貸与奨学金（300,000円貸与）
2. 緊急貸与奨学金（月額50,000円／6ヶ月貸与）

浜松学院大学同窓会会則 第1章 総則 (名称) 第1条 この会は、浜松学院大学同窓会という。 (目的) 第2条 この会は、会員相互の親睦を図り、浜松学院大学並びに浜松学院大学短期大学の隆昌発展に寄与することを目的とする。 (事業) 第3条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 会員名簿の発行 (2) 同窓会報の発行 (3) その他、この会の目的を達成するために必要な事業 (本部及び支部) 第4条 この会は、本部を浜松学院大学内に置き、支部を必要な地域に設ける。 第2章 会員及び客員 (会員) 第5条 この会は、次の資格を有するものを会員とする。 (1) 学校法人興誠学園の設置する浜松学院大学並びに浜松学院大学短期大学部及びその前身である浜松短期大学、浜松商科短期大学、興誠学園幼稚園教員養成所(以下「大学等」という。)を卒業、または課程終了したもの。 (2) 前号の大学等に1年以上在学したもので、理事会の承認を得たもの。	(客員) 第6条 この会は、次の資格を有する者を客員とする。 (1) 前条に示す大学等の教職員。 (2) かつ前条に示す大学等の教職員であつたもので、理事会の承認を得たもの。 第3章 役員 (役員の定数) 第7条 この会に、次の役員を置く。 (1) 会長 1名 (2) 副会長 若干名 (3) 理事 各科各部の卒業回数合計数に相当する人員以内とし、各回の同窓生を代表する。 (4) 常任理事 理事合計数の3分の1以内 (5) 監事 2名以上4名以内 (役員の選任) 第8条 役員の選任は、次により行う。 (1) 会長、副会長、及び監事は、理事会の議を経て、選任する。 (2) 常任理事は、理事会において選出する。 (役員の任期) 第9条 (1) 役員の任期は、3年とし、総会を以て終了する。但し、再選を妨げない。なお、補欠のため選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。 (2) 会長に関しては3選を認めない。 (役員の職務) 第10条 役員の職務は、次のとおりとする。 (1) 会長は、この会を代表	し、会務を総理する。 (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。 (3) 理事は、理事会を組織し、会務を議決する。 (4) 常任理事は、特に、常任理事会を組織し、理事会の決議事項を執行する。 (5) 監事は少なくとも年1回、この会並びに各支部の財産及び会務執行の状況を監査し、その結果につき理事会に報告し、意見を述べなければならぬ。 (顧問、及び特別顧問) 第11条 会長は、この会の重要事項を諮問するため、理事会の議を経て顧問、特別顧問を委嘱することができる。但し、任期は第9条を準用する。 (事務局) 第12条 会長は、この会の事務を処理するため、事務局を置く。 第4章 会議 (総会) 第13条 総会は、会員で構成し、理事会の決議事項を報告する。ただし、理事会が認めたときは、開催をとりやめることができる。 (理事会) 第14条 理事会は、会長、副会長、常任理事及び理事をもって組織する。但し、会長が必要に応じて顧問等に出席を依頼することができる。 理事会は、毎年2回以上開き、次の事項を決定する。 (1) 支部の承認	催の広報、会報誌発行、ホームページへの記事掲載と更新 (議事) 第17条 この会の議事は、すべて、出席した会員の3分の2以上の賛否をもって決定する。 第5章 会計 (経費) 第18条 この会の経費は、次の収入をもって充てる。 (1) 会費 (2) 寄附金 (3) その他の収入 (会計年度) 第19条 この会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。 第6章 支部 (支部の結成) 第20条 会員は、理事会の議を経て地域別に支部を結成することができる。但し、支部は、一定の事務所を設け、組織を定めて役員を置かなければならない。 (本部への報告) 第21条 支部は、会員の住所、氏名及び職業並びに支部規則を本部に報告するものとし、その異動があつたときも同様とする。 第7章 補則 (規定にない細目) 第22条 この会則に規定のない細目は、理事会の議を経て会長が決定する。
--	---	---	--

附 則 注 昭和43年3月10日 制定 (臨時総会) 昭和43年5月3日 一部改正 (第1回通常総会) 昭和44年5月3日 一部改正 (第2回通常総会) 昭和45年5月3日 一部改正 (第3回通常総会) 昭和46年5月16日 一部改正 (第4回通常総会) 昭和59年5月27日 一部改正 (第17回通常総会) 昭和60年8月25日 一部改正 (第18回通常総会) 昭和61年8月24日 一部改正 (第19回通常総会) 平成2年8月19日 一部改正 (第23回通常総会) 平成5年8月1日 一部改正 (第26回通常総会) 平成8年8月11日 一部改正 (第29回通常総会) 平成10年8月29日 一部改正 (第31回通常総会) 平成18年4月8日 一部改正 (通常理事会) 平成20年6月27日 一部改正 (通常理事会) 平成25年6月20日 一部改正 (通常理事会)	浜松学院大学同窓会 掛川支部会則 第1章 総則 (名称) 第1条 この会は、浜松学院大学同窓会掛川支部という。 (目的) 第2条 この会は、会員相互の親睦を図り、浜松学院大学の隆昌発展に寄与することを目的とする。 (事業) 第3条 この会は、前条の目的を達成するために、本部の事業に協調する。 第2章 会員及び客員 (会員) 第4条 この会は、次の資格を有する者で掛川市に在住する会員とする。 (1) 学校法人興誠学園の設置する浜松学院大学並びに浜松学院大学短期大学部及びその前身である浜松短期大学、浜松商科短期大学、興誠学園幼稚園教員養成所(以下「大学等」という。)を卒業、または課程終了したもので、前号の大学等に1年以上在学したもので、理事会の承認を得たもの。 (客員) 第5条 この会は、次の資格を有する者を客員とする。 (1) 前条に示す大学等の教職員。 (2) かつ前条に示す大学等の教職員であつたもので、理事会の承認を得たもの。	第3章 役員 (役員の定数) 第6条 この会に、つぎの役員を置く。 (1) 支部長 1名 (2) 副支部長 若干名 (3) 理事 若干名 (4) 会計 1名 (役員の選任) 第7条 役員の選任は、次により行う。 (1) 支部長、副支部長及び会計は理事会の議を経て選任する。 (役員任期) 第8条 (1) 役員任期は、本部役員と同期間とし、再選を妨げない。 但し、補欠のため選任された役員任期は、前任者の残任期間とする。 (2) 支部長に関しては、3選を認めない。 (役員職務) 第9条 役員職務は、次のとおりとする。 (1) 支部長は、この会を代表し、会務を総理する。 (2) 副支部長は、支部長を補佐し、支部長に事故がある時は、その職務を代理する。 (3) 理事は、理事会を組織し、会務を議決する。 (顧問、及び特別顧問) 第10条 支部長は必要に応じて、理事会の議を経て顧問、特別顧問を委嘱することができる。但し、任期は第8条を準用する。 第4章 会議 (総会) 第11条 総会は、本部総会に参加すること、これに替える。	(理事会) 第12条 理事会は、支部長、副支部長、会計及び理事をもって組織し、年2回以上開催する。但し、支部長が必要に応じて顧問等に出席を依頼することができる。 (議事) 第13条 この会の議事は、すべて、出席した会員の3分の2以上の賛否をもって決定する。 第5章 会計 (経費) 第14条 この会の経費は、次の収入をもって充てる。 (1) 本部補助金 (2) 寄付金 (3) その他の収入 (会計年度) 第15条 この会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。 (会計監査) 第16条 この会の会計監査は、本部監事の監査を年1回受けるものとする。 (本部への報告) 第17条 支部は、会員の住所、氏名及び職業並びに支部会則を本部に報告するものとし、その異動があつたときも同様とする。 第6章 補則 (規定にない細目) 第18条 この会則に規定のない細目は、本部及び理事会の議を経て支部長が決定する。 平成18年4月8日 制定(通常理事会) 平成20年7月25日 一部改正(通常理事会)	浜松学院大学同窓会 ゴルフ会則 第1条 本会は浜松学院大学同窓会ゴルフ会(略称浜学同窓会ゴルフ会)と称する。 第2条 本会はゴルフを通じて会員の健康増強と相互の親睦を図ることを目的とする。 第3条 本会は浜松学院大学同窓会員及び興誠学園関係者のゴルフ愛好者をもって組織する。 第4条 本会には会長をおく。会長は会員より選出する。本会の会長の任期は2ケ年とし、再選を妨げない。 第5条 本会は幹事をおく。幹事は優勝者及びブービー賞者の2名とし、会員各位への連絡事務・会計・次回開催の準備をする。 第6条 プレー費用は各人の負担とする。 第7条 会の運営は会員及び同窓会の補助金をもって。但し会費は参加者よりその都度徴収する。 第8条 ゴルフ競技会は年2回(春・秋)に開催する。 第9条 競技方法はダブルペリア方式とする。但し協議のうえ他の競技方法とすることができる。 第10条 賞は1位より3位迄及び参加賞とする。但し参加人員が3組以上になった場合には賞の範囲を広げることができる。 第11条 同点者ある時は年令・ハンディキャップ順とする。 第12条 競技は6名以上の参加をもって成立とする。 第13条 但し、ゴルフコースの都合により定員をもうけ、定員になり次第締切ることがある。 附 則 1 この会則は平成4年1月26日から施行する。 平成20年7月25日 一部改正(通常理事会)
--	--	--	--	---

平成26年度 収支決算書

(自 平成26.4.1 至 平成27.3.31)

収入の部			支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
前年度繰越金	4,785,046	4,785,046	会議費	900,000	484,127
会員会費	3,300,000	3,300,000	懇親会費	300,000	188,441
祝儀	0	30,000	奨学費	600,000	0
預金利息	0	1,517	卒業パーティ助成金	200,000	200,000
奨学金回収	0	0	証書ファイル	250,000	232,437
名簿販売	0	0	慶弔費	350,000	335,000
総会剰余金	0	0	通信費	150,000	96,755
名簿作成剰余金	0	0	消耗品費	50,000	0
			学園祭関係費	160,000	130,000
			印刷費	30,000	15,120
			掛川支部運営費	50,000	50,000
			定期預金組入	0	0
			ホームページ関係費	150,000	108,864
			総会費用	1,000,000	592,554
			予備費	3,895,046	43,690
			次年度繰越金	0	5,639,575
合計	8,085,046	8,116,563	合計	8,085,046	8,116,563

監査の結果、いずれも適正且つ妥当であることを認めます。

平成27年4月14日

浜松学院大学同窓会

会計監査 神谷 壽 俊 ㊞
同 早田 利 之 ㊞

平成27年度 収支予算書

(自 平成27.4.1 至 平成28.3.31)

収入の部			支出の部		
科目	前年度決算額	予算額	科目	前年度決算額	予算額
前年度繰越金	4,785,046	5,639,575	会議費	484,127	600,000
会員会費	3,300,000	2,904,000	懇親会費	188,441	250,000
祝儀	30,000	0	奨学費	0	600,000
預金利息	1,517	0	卒業パーティ助成金	200,000	200,000
奨学金回収	0	0	証書ファイル	232,437	250,000
名簿販売	0	0	慶弔費	335,000	200,000
総会剰余金	0	0	通信費	96,755	150,000
名簿作成剰余金	0	0	消耗品費	0	50,000
			学園祭関係費	130,000	150,000
			印刷費	15,120	30,000
			掛川支部運営費	50,000	50,000
			事務局費	0	100,000
			ホームページ関係費	108,864	150,000
			総会費用	592,554	1,000,000
			予備費	43,690	4,763,575
			次年度繰越金	5,639,575	0
合計	8,116,563	8,543,575	合計	8,116,563	8,543,575

※科目間の流用を認めるものとする

財産目録

(平成27年3月31日現在)

普通預金	浜松信用金庫	7,494,739
	静岡銀行	877,931
	遠州信用金庫	38,905
	小計	8,411,575
	平成27年度入学生会費 (231名分)	△ 2,772,000
	差引残高 (A)	5,639,575
定期預金	浜松信用金庫	(B) 500,000
		(B) 1,000,000
		(B) 1,000,000
		(B) 1,004,768
奨学金貸付金 (2名分)	(C)	224,000
合計	(A+B+C)	9,368,343

上記の通り、収支および財産目録の報告をいたします。

平成27年4月23日

浜松学院大学同窓会

会長 伊藤 安 男 ㊞
副会長 島田 隆 ㊞
同 川島 多賀子 ㊞
同 山本 陽子 ㊞

平成27年度 教員一覧

浜松学院大学

管理職名	職名	氏名	専門分野
学長	教 授	雨 宮 正 一	企業経営、企業広報、広告・プロモーション
現代コミュニケーション学部学部長	教 授	石 田 勝 義	子ども家庭福祉、障がい児教育
子どもコミュニケーション学科学科長	教 授	岩 見 良 憲	特別支援教育
地域共創学科学科長	教 授	津 村 公 博	英語教育学
図書館館長	教 授	大 野 木 龍 太 郎	スポーツ社会学・スポーツ教育学・社会教育学（子どもの社会教育論）
付属愛野こども園園長	教 授	田 嶋 善 郎	精神保健、社会福祉
	教 授	酒 井 俊 郎	発達教育学・運動生理学
	教 授	坂 本 雄 士	教科教育（算数・数学教育）、教育方法学、教育心理学
	教 授	櫻 井 龍 彦	社会学（コミュニケーション史、コミュニケーション文化論、自我論）
	教 授	戸 田 昭 直	ビジネス実務教育、ライフプランニング、簿記会計教育
	教 授	原 田 年 康	教育実践学
	教 授	古 橋 義 彦	教職概論
	教 授	山 本 千 紗 子	地域子育て支援、地域家族支援
	准教授	岡 部 康 成	認知心理学・社会心理学
	准教授	川 口 雅 也	アメリカ文学、英語圏大衆文化
	准教授	高 久 新 吾	ピアノ・鍵盤楽器奏法、器楽合奏、音楽教育学
	准教授	名 倉 一 美	保育、障害児保育、保育実践研究
	准教授	土 倉 英 志	社会心理学、認知心理学、質的心理学
	准教授	光安アパレシダ光江	国際開発、国際貿易、ブラジル経済、ポルトガル語、
	准教授	若 尾 良 徳	発達心理学、青年心理学、教育心理学、社会心理学
	准教授	渡 部 い づ み	地域経済 産業論 特に浜松地域の地場産業研究
	講 師	荒 井 庸 子	発達心理学
	講 師	池 谷 美 衣 子	教育学、生涯学習・社会教育学
	講 師	石 野 純 子	保育実践 発達支援保育
	講 師	勘 米 良 祐 太	国語教育史、文法教育、作文教育
	講 師	小 佐 々 典 靖	社会福祉学、障害者福祉学
	講 師	中 澤 幸 子	特別支援教育

浜松学院大学短期大学部

管理職名	職名	氏名	専門分野
短期大学部部長	教 授	弘 谷 多 喜 夫	教育史
幼児教育科科長	教 授	山 本 孝 一	教育工学
付属幼稚園園長	教 授	金 子 容 子	英文学・英国口承文芸・英米児童文学
	教 授	浅 井 潔	発達心理学、教育心理学
	教 授	亀 尾 恵 子	音楽・児童文化
	教 授	芳 賀 亜 希 子	乳幼児心理学
	教 授	若 杉 雅 夫	油彩画、石版画、幼児の造形教育
	准教授	坂 田 温 志	社会福祉学（障害者福祉、児童家庭福祉）
	准教授	志 村 浩 二	嗜癡行動学、神経心理学
	准教授	永 岡 和 香 子	音楽と動きの教育
	講 師	中 本 富 士 乃	音楽教育、音楽療法
	講 師	橋 爪 け い 子	保育
	講 師	松 澤 俊 行	健康、体育、野外教育

浜松学院大学短期大学部（浜松短期大学）における年次別学科別卒業生数

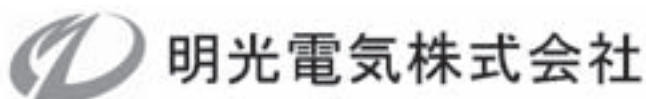
学科 卒業年	商 科				幼 児 教 育 科				英語コミュニケーション科 (英語科)		全 体			
	第一部	第二部	合計	累計	第一部	第二部	合計	累計		累計	昼間部	夜間部	合計	累計
昭和28	① 84		84	84							84		84	84
29	② 61		61	145							61		61	145
30	③ 76		76	221							76		76	221
31	④ 74		74	295							74		74	295
32	⑤ 70		70	365							70		70	365
33	⑥ 38		38	403							38		38	403
34	⑦ 25		25	428							25		25	428
35	⑧ 18		18	446							18		18	446
36	⑨ 36		36	482							36		36	482
37	⑩ 29		29	511							29		29	511
38	⑪ 34	① 102	136	647							34	102	136	647
39	⑫ 57	② 92	149	796							57	92	149	796
40	⑬ 78	③ 126	204	1,000							78	126	204	1,000
41	⑭ 64	④ 118	182	1,182							64	118	182	1,182
42	⑮ 67	⑤ 133	200	1,382		① 55	55	55			67	188	255	1,437
43	⑯ 79	⑥ 122	201	1,583	① 16	② 63	79	134			95	185	280	1,717
44	⑰ 75	⑦ 106	181	1,764	① 50	① 77	127	261			125	183	308	2,025
45	⑱ 63	⑧ 112	175	1,939	② 53	② 129	182	443			116	241	357	2,382
46	⑲ 47	⑨ 90	137	2,076	③ 49	③ 124	173	616			96	214	310	2,692
47	⑳ 58	⑩ 96	154	2,230	④ 45	④ 130	175	791			103	226	329	3,021
48	㉑ 72	⑪ 109	181	2,411	⑤ 51	⑤ 129	180	971			123	238	361	3,382
49	㉒ 80	⑫ 90	170	2,581	⑥ 90	⑥ 167	257	1,228			170	257	427	3,809
50	㉓ 101	⑬ 98	199	2,780	⑦ 110	⑦ 188	298	1,526			211	286	497	4,306
51	㉔ 113	⑭ 103	216	2,996	⑧ 111	⑧ 187	298	1,824			224	290	514	4,820
52	㉕ 162	⑮ 136	298	3,294	⑨ 153	⑨ 221	374	2,198			315	357	672	5,492
53	㉖ 163	⑯ 91	254	3,548	⑩ 201	⑩ 154	355	2,553			364	245	609	6,101
54	㉗ 163	⑰ 97	260	3,808	⑪ 226	⑪ 172	398	2,951			389	269	658	6,759
55	㉘ 146	⑱ 79	225	4,033	⑫ 170	⑫ 117	287	3,238			316	196	512	7,271
56	㉙ 148	⑲ 45	193	4,226	⑬ 217	⑬ 73	290	3,528			365	118	483	7,754
57	㉚ 149	㉑ 44	193	4,419	⑭ 206	⑭ 50	256	3,784			355	94	449	8,203
58	㉛ 123	㉒ 42	165	4,584	⑮ 186	⑮ 32	218	4,002			309	74	383	8,586
59	㉜ 142	㉓ 45	187	4,771	⑯ 197	⑯ 29	226	4,228			339	74	413	8,999
60	㉝ 127	㉔ 30	157	4,928	⑰ 167	⑰ 33	200	4,428			294	63	357	9,356
61	㉞ 127	㉕ 23	150	5,078	⑱ 128	⑱ 23	151	4,579			255	46	301	9,657
62	㉟ 82	㉖ 17	99	5,177	⑲ 85	⑲ 22	107	4,686			167	39	206	9,863
63	㊱ 121	㉗ 22	143	5,320	㉑ 134	㉑ 34	168	4,854	① 90	90	345	56	401	10,264
平成1	㊲ 160	㉘ 31	191	5,511	㉒ 131	㉒ 47	178	5,032	② 94	184	385	78	463	10,727
2	㊳ 166	㉙ 37	203	5,714	㉓ 135	㉓ 23	158	5,190	③ 99	283	400	60	460	11,187
3	㊴ 158	㉚ 39	197	5,911	㉔ 134	㉔ 27	161	5,351	④ 140	423	432	66	498	11,685
4	㊵ 160	㉛ 48	208	6,119	㉕ 143	㉕ 31	174	5,525	⑤ 143	566	446	79	525	12,210

学科	商 科				幼 児 教 育 科				英語コミュニケーション科 (英語科)		全 体			
卒業年	第一部	第二部	合計	累計	第一部	第二部	合計	累計		累計	昼間部	夜間部	合計	累計
平成5	㊦ 164	㊧ 46	210	6,329	㊨ 143	㊩ 32	175	5,700	㊪ 129	695	436	78	514	12,724
6	㊫ 160	㊬ 67	227	6,556	㊭ 148	㊮ 51	199	5,899	㊯ 130	825	438	118	556	13,280
7	㊰ 159	㊱ 56	215	6,771	㊲ 148	㊳ 47	195	6,094	㊴ 120	945	427	103	530	13,810
8	㊵ 153	㊶ 59	212	6,983	㊷ 152	㊸ 50	202	6,296	㊹ 116	1,061	421	109	530	14,340
9	㊺ 152	㊻ 33	185	7,168	㊼ 141	㊽ 50	191	6,487	㊾ 99	1,160	392	83	475	14,815
10	㊿ 133	㋀ 34	167	7,335	㋁ 141	㋂ 46	187	6,674	㋃ 94	1,254	368	80	448	15,263
11	㋄ 120	㋅ 11	131	7,466	㋆ 137	㋇ 43	180	6,854	㋈ 95	1,349	352	54	406	15,669
12	㋉ 131	㋊ 20	151	7,617	㋋ 140	㋌ 34	174	7,028	㋍ 87	1,436	358	54	412	16,081
13	㋎ 119	㋏ 11	130	7,747	㋐ 139	㋑ 39	178	7,206	㋒ 67	1,503	325	50	375	16,456
14	㋓ 119	㋔ 13	132	7,879	㋕ 145	㋖ 32	177	7,383	㋗ 65	1,568	329	45	374	16,830
15	㋘ 99	㋙ 6	105	7,984	㋚ 132	㋛ 43	175	7,558	㋜ 46	1,614	277	49	326	17,156
16	㋝ 94	—	94	8,078	㋞ 129	㋟ 49	178	7,736	㋠ 61	1,675	284	49	333	17,489
17	㋡ 69	—	69	8,147	㋢ 127	㋣ 41	168	7,904	㋤ 45	1,720	241	41	282	17,771
18	—	—	—	8,147	㋦ 143	㋧ 47	190	8,094	—	1,720	143	47	190	17,961
19	—	—	—	8,147	㋨ 137	㋩ 27	164	8,258	—	1,720	137	27	164	18,125
20	—	—	—	8,147	㋪ 145	—	145	8,403	—	1,720	145	—	145	18,270
21	—	—	—	8,147	㋬ 146	—	146	8,549	—	1,720	146	—	146	18,416
22	—	—	—	8,147	㋮ 129	—	129	8,678	—	1,720	129	—	129	18,545
23	—	—	—	8,147	㋰ 127	—	127	8,805	—	1,720	127	—	127	18,672
24	—	—	—	8,147	㋲ 154	—	154	8,959	—	1,720	154	—	154	18,826
25	—	—	—	8,147	㋴ 146	—	146	9,105	—	1,720	146	—	146	18,972
26	—	—	—	8,147	㋶ 153	—	153	9,258	—	1,720	153	—	153	19,125
27	—	—	—	8,147	㋸ 142	—	142	9,400	—	1,720	142	—	142	19,267
合計	5,468	2,679	8,147		6,432	2,968	9,400		1,720		13,620	5,647	19,267	

※ 幼児教育科のうち、昭和41年度、42年度はその前身である興誠学園幼稚園教員養成所

浜松学院大学における年次別卒業生数

学科	現代コミュニケーション学部 現代コミュニケーション学科		現代コミュニケーション学部 子どもコミュニケーション学科		地域共創学科		全体	
卒業年	卒業生数	累計	卒業生数	累計	卒業生数	累計	合計	累計
平成20	① 169	169					169	169
21	② 105	274					105	274
22	③ 102	376					102	376
23	④ 64	440	① 42	42			106	482
24	⑤ 39	479	② 44	86			83	565
25			③ 38	124	① 41	41	79	644
26			④ 44	168	② 38	79	82	726
27			⑤ 57	225	③ 44	123	101	827
合計	479		225		123		827	



明光電気株式会社

〒435-0041 浜松市東区北島町2 5 番地

TEL: 053 (421) 4611

FAX: 053 (422) 1187

<http://www.meikoh-me.co.jp>



株式会社 **日本環境認証機構**

審査部 EMS主任審査員
OHSMS主任審査員

富永ISO研究所 代表 **富永守男**

労働安全衛生
環境教育支援

〒432-8021 静岡県浜松市中区佐鳴台4-23-6

Tel/Fax : 053-449-0865

e-mail : morio_tominaga@yahoo.co.jp



看板 / 塗装 / フィルム / デザイン
ディスプレイ / イベント

工房 株式会社

〒433-8113 静岡県浜松市中区上島3-6-1

TEL 053 (545) 6902 FAX 053 (467) 4802



総合設備

空調設備・給排水設備・冷凍空調工業会会員
冷凍空調施設工事認定事業所

株式会社 **ムラコー**

〒435-0051 浜松市東区市野町2532

TEL (053) 421-7481・FAX (053) 421-7484

街がかわる、街をかえる。



WE BUILD THE FUTURE.

RINKOH

株式会社 **林工組** <http://www.rinkoh.co.jp>

本社 〒435-0036 静岡県浜松市南区渡瀬町1000-1 TEL 053-461-8853(代表)

FAX 053-461-8855

静岡支店 〒422-8026 静岡市駿河区富士見台1-13-9 TEL 054-281-2085

磐田営業所 〒438-0074 磐田市二之宮38-2 TEL 0538-32-5365

掛川営業所 〒436-0017 静岡県掛川市杉谷2-2-20 TEL 0537-24-5855

豊橋営業所 〒441-8068 豊橋市神ノ輪町80 TEL 0532-45-9898

国内旅行・海外旅行



(有)日本観光

島田 隆(商科一部22回卒)

〒430-0906 浜松市中区住吉五丁目20番16号

TEL (053) 473-2143 FAX (053) 473-9128

E-mail: nikkan-t@mail.wbs.ne.jp



.....ロータスは全国1,700社の整備工場ネットワーク.....

ロータス伊藤車輛

(株)伊藤車輛 3658244特約ロードサービス

(有)静岡カーシステム(カーリース)
中部運輸局指定民間車検工場
浜松市東区天王町1993-1

ロコス浜松(新車・中古車)

浜松市中区船越町52-25

☎ 053-465-6262(代)

☎ 053-465-3535(代)

車検整備・钣金塗装・損害保険・カーリース・新車・中古車販売



QRコードでアクセス

赤飯・折詰・弁当・料理仕出し



(有) 井川 泉

浜松店 〒432-8011 浜松市中区城北1-25-13

TEL (053) 472-9623(代)

浜北店 〒434-0044 浜松市浜北区内野4257

TEL (053) 586-5123(代)

FAX (053) 586-6046



<http://www.hamanen.co.jp>

株式会社

ハマネン設備センター

FUJI xerox

富士ゼロックス静岡株式会社

〒430-0928 浜松市中区板屋町 506 番地

TEL 053-455-3161 FAX 053-455-3771



社員研修は私たちにお任せください。

地元浜松で優良な研修を提供する 株式会社 エスエスブ레인

〒430-0901 静岡県浜松市中区曳馬 6-25-36

TEL:053-474-3178 FAX:053-474-6855

E-mail:ss-brain@ss-brain.com http://www.123ssb.jp/

環境のリーディングカンパニー



〒430-0904 浜松市中区中沢町71番23号
電話(053)471-3421(代) FAX(053)472-4066(代)



かりり

代表 河守恭一 (高28回卒)

〒432-8045 静岡県浜松市中区西浅田1-10-8
TEL(053)442-1200 FAX(053)442-6768

各種新車・中古車販売

車検・点検・修理・板金・塗装
あいおいニッセイ同和損害保険㈱代理店
中部陸運局認証工場



(株)佐上商會

浜松市東区丸塚町94-1 TEL(053)464-8158(代)
FAX(053)464-2272

株式会社 アドットワークス

Adot Works



各種印刷・WEB制作・学術集会等の設置運営

email:info@adotworks.com phone:053-479-0047 fax:053-533-3115

浜松学院大学 かみすぐさこ！ 進路2分！



税理士・行政書士・宅地建物取引主任

近藤良夫

〒432-8015 浜松市中区高町205-11
電話(053)453-8707
FAX(053)453-9350

学校用黒板、事務所用黒板、ホワイトボード
各種掲示板、看板

有限会社 不二黒板製作所

〒430-0904 浜松市中区中沢町21番地9号
TEL(053)471-9010・FAX(053)472-2493

経営者のよき相談相手でありたい

東海浜松会計グループ 会長 内山隆司
(〒430-0946 浜松市中区元城町113-15)

税理士法人

東海浜松会計事務所

所長 竹内 一 登
TEL 053-455-2181

社会保険労務士法人

浜松労務管理事務所

所長 山崎 恵子
TEL 053-455-1003

萬屋蒔蒔店

こんにやく・ところ天 製造・卸

浜松市中区天神町5-12 TEL 053-461-1588
463-1572
FAX 053-489-9303

(株)西遠蒔蒔

卸・浜松中央卸売市場

浜松市南区新貝町239-1 TEL/FAX 053-427-7506

静岡県知事免許(13)第2180号

宇野不動産株式会社

〒432-8023 浜松市中区鴨江四丁目2番17号
TEL 053-454-0711(代表) FAX053-455-2345
URL http://www.uno-re.com/
E-mail info@uno-re.com

普通・二輪免許を取るなら  遠鉄自動車学校 浜松市東区小池町1552 053-462-1221	 かに料理 本店 かに料理 浜松甲羅本店 〒432-8023 浜松市中区鴨江2-49-20 TEL 053-456-0051
RICOH・NEC・SHARP・AMANO 事務器・事務用品・スチール家具 有限会社 森 文 浜松市中区向宿3丁目9-4 TEL(053)461-1243 FAX(053)461-7248	 出前弁当専門店 浜松市中区蛸塚3丁目8-39(蛸塚中学校前) 日曜・祝日も営業 美しさと真心をお届けします ご法事・お祝い・ご会合・ご接待・行楽などに... 幕の内弁当 仕出し料理 折詰弁当 オードブル 洋食弁当 日替りお弁当 お弁当一個より迅速に配達致します ☎ 053-453-8233 電話でのご予約は24時間承ります。 http://nttbj.itp.ne.jp/0534538233/
 CROSSDEVICE 株式会社 クロスデバイス 各種販促ツール Webコンテンツの企画・制作 TEL:053-478-3388 FAX:053-478-3311 URL:http://www.crossdevice.co.jp	 KURETAKESO HAMAMATSU Since 1948 呉竹荘 〒432-8036 静岡県浜松市中区東伊場1-1-26 TEL 053-453-1511 FAX 053-456-0897
 浅氏株式会社 浜松市東区神立町131-7 TEL 053-464-1234 E-mail omatsuri_ouendan@ujihara.co.jp	 浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部 学生総合保険 取扱代理店 株式会社 エマ 浜松市中区元目町129-10オーリットビル2F TEL(053)474-8200(代) FAX(053)474-8231 URL:http://www.ema-hoken.com
建築 土木 MARUISHI ITO 県知事許可 第9912号 代表取締役 伊藤 正 康 有限会社 丸石伊藤建設 〒435-0006 浜松市東区下石田町1782 TEL (053) 421-2686 FAX (053) 421-2753 E-mail:maruishi-ito@po4.across.or.jp	 ==== 地域社会に貢献する ==== 視聴覚・情報通信・セキュリティ 電通システム株式会社 〒430-0853 浜松市南区三島町104-1 TEL 053-441-3911 FAX 053-441-7515 http://www.dslab.co.jp

HGU 浜松学院大学短期大学部

後援:浜松市教育委員会
浜松市私立幼稚園協会
静岡県保育所連合会西部支部

第38回 夏季大学

【研修テーマ】「多様なニーズに応えるこれからの保育」

日時:平成27年8月8日(土) 9:50~15:30(9:30より受付)

会場:浜松学院大学短期大学部(静岡県浜松市中区住吉2-3-1)

- 受講料 2,000円(税込) 詳細はHP(http://www.hgu.ac.jp/coll_hp)でご確認下さい。
- 申込締切日 7月31日(金) 開催案内リーフレットおよび申込書のダウンロードができます。

【申し込み・問い合わせ】

浜松学院大学短期大学部 夏季大学実行委員会

〒430-0906 静岡県浜松市中区住吉2-3-1

Tel 053-473-6100(9:00~17:00 ※土、日、祝日を除く)



Print&Creation 広告する。

封筒や名刺などのビジネスツールから、チラシやDM、会社案内、カタログなどの印刷物をコーディネート。

貴重な経験と知識を基に、デザインから印刷までお手伝いいたします。

またWebサイトやECサイトの企画・制作もトータルでサポートいたします。



- ◆各種印刷
- ◆デザイン構築
- ◆webサイト構築

有限会社 アイエヌジー

〒432-8056 浜松市南区米津町1180

TEL.053-441-5839 FAX.053-441-5839



090-5859-3336

E-mail/ ing@joy.ocn.ne.jp

URL/www.ing-ok.com

栄電気工業株式会社

〒430-0947 浜松市中区松城町200番地の6(美術館前)
電話<053>454-8371(代) FAX<053>452-9351

伸名産研 株式会社

理化学機器、消防、給排水、設備施工管理

局所排気(環境改善)、空調(省エネ)、冷熱・冷温、

〒435-0047 静岡県浜松市東区原島町204番地 tel 053-464-4014



躍進するNKKOグループ

情報通信・セキュリティ・地上波デジタル・太陽光発電・映像音響・消防設備・電気工事

日興電気通信株式会社

ソリューション・PC・LAN・セキュリティ浜松

ニッコウプロセス株式会社

本社 浜松市北区大原町11番地 TEL053-439-1125(代) FAX053-439-1135

建築物・建造物の白アリ害虫駆除・清掃管理・清掃用品販売

株式会社サンワールド社

代表取締役 足立 清二 (商I部21回卒)

浜松市南区下江町571番地の2

TEL<053>426-1121 FAX<053>426-2178



株式会社 ソフトウェアプロダクツ

〒435-0031 浜松市東区長鶴町158-1

TEL (053) 461-1711

URL <http://www.spc-si.co.jp>

携帯電話・事務機器・パソコン教室

ヤマサン商会

浜松市浜北区本沢合1069 TEL053-586-4133 FAX053-586-4380

パソコン特価で販売します。インターネット接続まで親切指導致します。





NPO 法人 **雲を耕す会**

理事長 大村 弘 司

天竜美林を再生し自然と環境を守る

〒433-8105 浜松市北区三方原町447-23

TEL & FAX 053-436-5221



D-HEARTS

D-HEARTS・PLE葉WALK浜北店

〒434-8502 静岡県浜松市浜北区貴布祢1200番地 PLE葉WALK浜北114 tel・fax 053-585-7114

D-HEARTS・ららぽーと磐田店

〒438-0801 静岡県磐田市高見丘1200 ららぽーと磐田店1F tel・fax 053-38-4095

D-HEARTS・半田山店

〒435-0052 静岡県浜松市東区半田山6-8-1 tel・fax 053-432-2212 木曜定休

Pipe & Fitting 水道・空調配管材料
Bronze Aluminum etc. 非鉄金属

& & 専門問屋 & &

To the future Since 1927

分 (株) 林 角 本 店

<http://www.hayashikaku.co.jp>

SPiC Salonは美と癒しと健康の「和」を楽しんで頂くサロンです。

SPiC Salon
スピックサロン 浜松西店

電話予約優先 浜松市西区雄踏町宇布見5147-1

☎ 053-596-0103 ☎ 0120-160103

建築設計、監理



株式会社 ニキ計画工房

代表取締役社長 小 木 一 夫

浜松市中区曳馬五丁目24-50

TEL (053) 474-7640

FAX (053) 475-2175

かんぱん



有限会社

キヨシ看板店

TEL 461-1945

www.kiyoshi.jp



静岡県
D.School

セイブ自動車学校

〒431-1112 静岡県浜松市西区大人見町2510

TEL 053-485-5511 FAX 053-485-2500



静岡県
L.School

セイブリフトスクール

〒431-1112 静岡県浜松市西区大人見町2510

TEL 053-485-5972 FAX 053-485-5973

URL <http://www.kenseibu.co.jp>



ISO 9001 : 2000

丸明建設株式会社

代表取締役 井 谷 安 秀

袋井市高尾町6番地の21 TEL (0538) 43-2221 FAX (0538) 43-2226

URL <http://www.marumei.co.jp/>

YAKINIKU CUISINE

サロ

浜松市中区住吉1-4-16 ☎ 053-474-7427



Nail salon Nagi

●ネイルケア (45分) ¥3,000~

●カラーリング (30分) ¥1,500~

●ジェル (手足同一料金) ¥4,000~

●アート (1本) ¥ 200~

(+消費税)

【営業時間】

平日 9:00~18:30

土・祝日 9:00~17:30

日 定休日

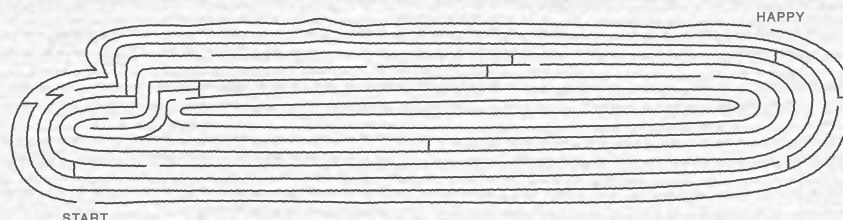
TEL&FAX

053-458-9229 (予約優先)

浜松市中区砂山町324-10

福ビル3F(1Fモスバーガー)





浜名湖名産・夜のお菓子
抜け出せない美味しさ。うなぎパイ

地域の式場 お通夜から、ご葬儀まで…

浜松葬儀では、経験豊富な「厚生労働省認定資格取得/葬祭ディレクター」が、責任を持ってお世話致します。

お通夜・ご葬儀から法要まで、利便性に富んだ11の会場から、お選びいただけます。

はまそう会館 北区東三方町 ☎053-437-1231	はまそう会館 中区高丘北 ☎053-420-4444	はまそう会館 中區向宿 ☎053-411-4444	はまそう会館 中区曳馬 ☎053-476-4444	はまそう会館 東区篠ヶ瀬町 ☎053-423-4444	はまそう会館 東区半田山 ☎053-439-0964
はまそう会館 中区森田町 ☎053-451-4444	はまそう会館 西区志都呂 ☎053-448-4444	はまそう会館 西区志都呂東 ☎053-445-4444	はまそう会館 北区細江町 ☎053-522-4444	はまそう会館 北区引佐町 ☎053-542-4444	はまそう会館 西区館山寺町 ☎053-487-4444

 浜松葬儀株式会社 浜松市北区東三方町76 TEL(053)437-1231
URL: <http://www.hama-so.co.jp>

「あんなコトからこんなコトまで」

私たちはお客様の期待に応えるプロフェッショナルです。まずはご相談を。

「そうだ、桐屋に聞こう。」

【取り扱い品目】

一般伝票・連続伝票・OCR・会社案内・チラシ・カタログ・パンフレット・ポスター・取扱説明書
DM・封筒・社内報・オンデマンド印刷・シール・ステッカー・ナイロン・ファイル・のぼり・看板・布印刷・シルク印刷
新聞広告・雑誌広告・ホームページ制作・運営・ラジオCM・CD制作・DVD制作・POP・ロゴ・パッケージ・広告の立案・制作・デザイン

桐屋印刷株式会社

〒432-8056 静岡県浜松市南区米津町1181
TEL. 053-441-4526 (代) FAX. 053-441-7809
URL <http://www.kiriya.co.jp>



浜松学院大学教育後援会からのお知らせ

平成16年4月の浜松学院大学の開学に合わせて、「浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部 教育後援会」が発足し、同窓会員のみなさまから多くの会費、寄付金を頂戴いたしました。その資金は、開学の際に必要な設備購入のために使用され、備品として大学に寄付させていただいております。

その後、教育環境整備のための支援を主な目的として、同窓会員を正会員とする後援会組織と、在学生に対する教育支援を目的とする保護者会組織を分け、現在に至っております。この機会をお借りして卒業生のみなさまにご報告させていただく次第です。

本会は、浜松学院大学の教育方針に則り、教育活動及び教育環境の整備をもって大学の教育成果の向上に寄与することを目的とし、その目的を達成するために次の事業を行ってまいります。

- (1) 教育に関する研究調査
- (2) 学生教育の振興に関する事業
- (3) 本大学の地域社会貢献に関する事業
- (4) その他必要と認めた事業

また、本会は次の会員をもって組織し、会費の納入をもって会員とします。

- (1) 正会員 本大学の卒業生（同窓会員と認められた者）
- (2) 準会員 興誠学園の役員
- (3) 特別会員 大学に勤務する教職員
- (4) 賛助会員 本会の趣旨に賛同する者
- (5) 協力会員 本大学に在籍する学生の保護者

同窓会員のみなさまには、是非とも母校発展のため、教育後援会会員としてご支援を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

浜松学院大学教育後援会 会長 大村 弘 司

※ 事務局からのお願い

※ 上記の趣旨に賛同していただける方は、郵便振替払込書にて会費の納入をお願いしております。

- ・ 会費 1口 5,000円（できるだけ2口以上の納入をお願いいたします。）
- ・ 会費の納入をもって会員として登録させていただきます。

※ ご協力いただける方は、別紙郵便振替払込用紙に住所、氏名等をご記入いただき、本日総会・懇親会終了後のお帰りの際に受付までお申し出ください。
後日ご入会いただける場合は、ご面倒でも郵便局にてお支払いください。

※ お問い合わせ先

浜松学院大学教育後援会事務局（浜松学院大学内） 電話（053）450－7000

ガリバー住吉バイパス店は 車の販売もNo.1 を目指します♪

ナンバーワン

いいこと
ありそう!!



ガリバーは修復歴(事故歴)のあるお車は販売しません。
最大10年の保証だから安心です。
買う時も買った後もガリバーは安心サポート。

あなたの欲しい車探しのお手伝いします。忙しい方もおまかせを！
ガリバー住吉バイパス店なら買った後も色々あんしん！ご相談下さい。

中古車・新車、新古車販売

株式会社ティ・エム・ワイ

ガリバー住吉バイパス店

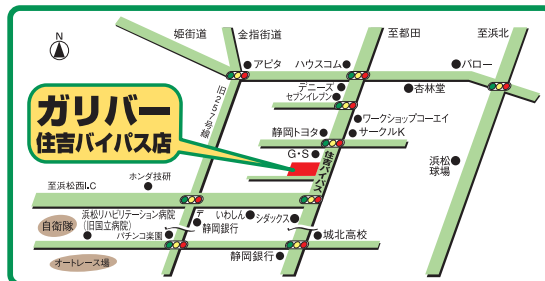
TEL:053-438-5252 (営業時間:AM10:00~PM7:00)

〒433-8113 浜松市中区小豆餅2丁目17-1



0120-12-2699

●名義変更手続き代行 ●車検・修理・钣金塗装 ●車買取 ●自動車保険
●支払いプランいろいろ ●10年間安心保証



興誠学園のあゆみ

- 昭和8年11月 財団法人興誠商業学校設立認可 興誠商業学校開校
- 昭和19年2月 法人を財団法人興誠会に改組、戦時措置令により興誠航空工業学校に改称
- 昭和23年4月 新学制施行により興誠高等学校と改称、興誠中学校を併設
- 昭和25年12月 私立学校法制定により学校法人興誠学園に改組
- 昭和26年4月 浜松短期大学開学
- 昭和27年4月 浜松商科短期大学に改称、興誠商業高等学校に改称
- 昭和42年4月 浜松短期大学に改称、幼児教育科第一部、第二部開設
- 昭和48年4月 興誠高等学校に改称、浜松短期大学付属幼稚園開園
- 昭和61年4月 浜松短期大学に英語科開設
- 平成7年4月 興誠高等学校普通科を男女共学に
- 平成16年4月 浜松学院大学(現代コミュニケーション学部)開学、興誠中学校開校
- 4月 浜松学院大学短期大学部に改称
- 浜松学院大学付属幼稚園に改称
- 平成19年4月 浜松学院大学に子どもコミュニケーション学科開設
- 平成21年4月 浜松学院大学に地域共創学科開設
- 平成23年4月 浜松学院高等学校、浜松学院中学校に改称
- 4月 浜松学院大学付属愛野こども園開園



昭和42年頃の登下校風景



商科第2部 昭和42年度卒業生

興誠学園の教育研究体制



浜松学院大学

静岡県浜松市中区布橋3丁目2番3号
TEL 053-450-7000
FAX 053-450-7110



浜松学院短期大学部

浜松市中区住吉2丁目3番1号
TEL 053-473-6100
FAX 053-473-6196



浜松学院高等学校

静岡県浜松市中区高林1丁目17番2号
TEL 053-471-4136
FAX 053-471-4137



浜松学院中学校

静岡県浜松市中区高林1丁目17番2号
TEL 053-471-4136
FAX 053-471-4137



浜松学院大学付属幼稚園

浜松市中区住吉1丁目22番5号
TEL 053-472-5193
FAX 053-472-7080



浜松学院大学付属愛野こども園

静岡県袋井市愛野南2丁目2番3号
TEL 0538-44-7800
FAX 0538-44-7801

地域共創学科

地域のために
仕事がしたい!

2016年4月、地域共創学科に
新3専攻誕生!!



子どもコミュニケーション学科

教師という
仕事がしたい!

静岡県西部で唯一取得できる!!
小学校教諭一種免許状・特別支援学校教諭一種免許状



幼児教育科

子どもを育てる
仕事がしたい!

幼稚園教諭二種免許状 & 保育士
W取得できる!!



浜松学院大学

現代コミュニケーション学部

地域共創学科 地域政策専攻 / 観光ツーリズム専攻 / グローバルコミュニケーション専攻

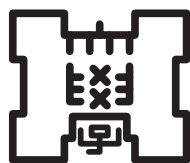
子どもコミュニケーション学科

幼児教育・保育専攻 / 初等教育専攻

HGU
HAMAMATSU GAKUIN UNIVERSITY

浜松学院大学短期大学部

幼児教育科



浜松学院大学同窓会

〒432-8012 浜松市中区布橋三丁目2番3号

浜松学院大学内 TEL 〈053〉450-7000